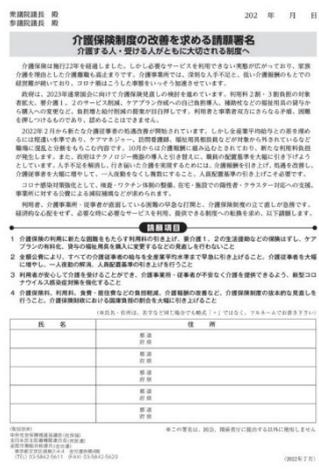


75歳以上窓口負担2倍化反対の闘い、10月実施の中止・延期を  
10月3日、愛知年金者組合、新婦人愛知県本部、生活と健康を守る会は、愛知県  
後期高齢者医療審査会会長へ不服審査請求書を860件提出しました。



提出前、愛知県庁前で各団体の代表からご挨拶。愛知社保協からは、小松事務局長が「10月1日からの後期高齢者医療費窓口負担2割化に反対する運動が全国各地で広がっている。愛知でも9月30日に怒りの宣伝行動を実施した。引き続き「中止」「撤回」もとめ訴えよう！さらに、介護保険含め高齢者負担増が狙われている。学んで行動しよう！」と訴えました。新日本婦人の会愛知県本部からは肌附社会保障部長が、生健会からは伊藤代表、年金者組合からは梅北書記長が訴え、その後自治センターの提出会場へ移動し、代表が県に提出しました。

# 秋の介護改善大運動 利用者負担原則 2 割化、ケアプラン有料化、要介護1・2の保険外しなど、大改悪ストップの闘い



9月26日厚労省介護保険部会が行われ、「給付と負担」の議論がスタートしました。

報道されている通り「介護利用料の2割化」が焦点。その他の改悪を含めて介護保険部会はせめぎあいの状況。この秋、介護大改悪を阻止する大きな闘いが求められています。

すでに新署名の取り組みが短時間で1給食に広がっています。あなたのお手元に届いていますか？

## 新介護署名の取組み（第1弾は9～11月に集中）

- ・新介護署名の国会提出行動 11月22日（火）午後 場所：衆議院第2会館 第3会議室
- ※署名集約 11月14日中央団体必着 愛知社保協へは提出数の報告を
- 署名用紙は または、愛知社保協までお声かけを
- <https://shahokyo.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/22090301-2048x1083.jpg>

## ミサイルより「ケア」の充実 介護に笑顔と希望を

# 要介護1、2の切り捨てやめて 介護利用料の原則2割化反対

オンライン署名ははじめました。上の画像をクリックしてください！（中央社保協ホームページより）

## 認知症の人と家族の会でも8年ぶりに署名取組む

### 「#要介護1と2の保険外し」がTwitterトレンド入り 家族の会「到底容認できない」オンライン署名に多くの賛同者

認知症の人と家族の会の「介護署名」にご協力ください！8万筆が目標です ➡ 拡散してください

認知症の人と家族の会が8年ぶりの署名。中央社保協に協力の呼びかけがありました。

< 要望項目 >

介護保険の自己負担を原則2割負担にしないこと

要介護1・2の訪問介護・通所介護を地域支援事業に移行しないこと  
ケアマネジメントの利用者負担導入（ケアプラン作成の有料化）をしないこと  
介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院の多床室（相部屋）室料負担を新設しないこと

紙署名

<https://www.alzheimer.or.jp/wp-content/uploads/2022/09/Syomei2022Web.pdf>

オンライン署名 <https://t.co/KGhPPFa8aH> 10/4 現在、3万8458人

## 全国介護学習交流集会/【10月30日開催】変えよう！人を大切にする制度へ～利用者・家族の人権保障、介護労働に正当な評価を～

2022年（第20回）全国介護学習交流集会

# 変えよう！人を大切にする制度へ

～利用者・家族の人権保障、介護労働に正当な評価を～

介護保険スタートから22年、「介護の社会化」、「自己選択と決定の介護保険」とうたわれて始まった制度は、相次ぐサービスの削減と利用料引き上げで、必要な介護サービスを受けることすらおぼつかないものになりつつあります。介護を必要とする人と家族、事業者、従事者、どの立場でも、一刻も早く立て直さねば介護が崩壊してしまうというのが共通の実感となっています。にもかかわらず政府は、次期改定で、さらなる改悪を予定しています。

「老後不安社会」からの転換をめざし、政府の介護制度見直し（改悪）の内容をつかみ、憲法にもとづく介護保障の実現、介護労働が正当に評価される社会にむけ決起の場となる学習交流集会にします。

◆日時 **10月30日（日）11:00～15:55（開場10:30予定）**

### ●講演Ⅰ 介護労働の専門性について考える



#### 篠崎良勝さん（聖隷クリストファー大学准教授）

雑誌『かいごの学校』初代編集長。介護職の専門性を具体的に「見える化」から「見える化」し、より良い雇用や地位の向上に貢献する介護教育者。1969年生まれ茨城県出身。筑波大学大学院修了。主著に『介護労働学入門—ケアマネジメントの実態を通して—』どこまで許される？ホームヘルパーの医療行為』（いずれも一橋出版）など

参加無料  
配信あり！

### ●講演Ⅱ 次期改定に向けた介護保険部会の動き

#### 花俣ふみ代さん

公益社団法人 認知症の人と家族の会・副代表兼埼玉県支部代表 / 厚労省社会保障審議会介護保険部会委員

●中央社協 介護保険制度の抜本改革提言（案）

●運動交流/参加者からの発言/行動提起/集会宣言など



### ◆会場 平和と労働センター・全労連会館2階ホールなど

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5610  
最寄り駅 JR「御茶ノ水」駅・千代田線「新御茶ノ水」駅・丸ノ内線「御茶ノ水」駅（徒歩8分）

### ◆オンライン参加は以下のQRコード、URLから

●Zoom ウェビナー

<https://onlsc/jahViXc>



●YouTube

<https://onlsc/db83US1>



・Zoomは事前登録制です。登録したメールアドレスに案内メールが送られます。

・会場参加の定員は2階ホール130人程度です（他に第2会場20人、第3会場20人）。またコロナ感染拡大状況によって完全オンラインになる場合があります。中央社協のHPでお知らせしますので参加前に確認を。

主催：2022年全国介護学習交流集会実行委員会（事務局：中央社協、全日本民医連、全労連）

連絡先：全労連介護・ヘルパーネット 文京区湯島2-4-4全労連会館4階 TEL03-5842-5611

介護保険スタートから22年、「介護の社会化」、「自己選択と決定の介護保険」とうたわれて始まった制度は、相次ぐサービスの削減と利用料引き上げで、必要な介護サービスを受けることすらおぼつかないものになりつつあります。介護を必要とする人と家族、事業者、従事者、どの立場でも、一刻も早く立て直さねば介護が崩壊してしまうというのが共通の実感となっています。にもかかわらず政府は、次期改定で、さらなる改悪を予定しています。

「老後不安社会」からの転換をめざし、政府の介護制度見直し（改悪）の内容をつかみ、憲法にもとづく介護保障の実現、介護労働が正当に評価される社会にむけ決起の場となる学習交流集会にします。

集会参加は個人でもOKです。

愛知視聴会場は労働会館本館4階会議室を予定します。

★★★中央社保協 SNS講座 11/2(水)18時～19時で開催  
 テーマ「なぜ社会保障運動もSNSに取り組む必要性があるのか」  
 講師:国公労連 井上伸氏(国公労連中央執行委員。雑誌『KOKKO』編集者)

すべての子どもたちに安心の医療を!

# 国の制度として、 18歳までの医療費を無料に



絵:いわさきちひろ 五つぷのえんどう豆 1972年

みんなの声で  
全国各地で  
高校生(以上含む)まで  
対象年齢拡大中!

ここ10年間で、  
「高校生(以上含む)」まで  
医療費助成の対象とする自治体が、  
通院で18(約1%)から736(約42%)に、  
入院で19(約1%)から804(約46%)に  
大幅増加しました!

子ども医療費助成制度の対象年齢の自治体比率



※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはなりません。  
 出所:厚生労働省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」より作成

国の制度創設を求める署名にご協力ください

詳しくは中央社保協ホームページから、または愛知社保協にご連絡ください。